

製品安全データシート

作成日：2024. 5. 1

1. 化学物質等及び会社情報

| | |
|----------|------------------------------|
| 化学品の名称 | ゼロマックス 100P |
| 会社名 | 株式会社キアン |
| 住所 | 〒730-0801 広島市中区寺町6-15 上森ビル2F |
| 電話番号 | 082-207-2380 |
| FAX 番号 | 082-207-2382 |
| 緊急連絡電話番号 | 082-207-2380 |

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

| | | |
|-----------|-------------------|------------|
| 物理化学的危険性 | 酸化性固体 | 区分2 |
| 健康有害性 | 急性毒性（経口） | 区分4 |
| | 眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 | 区分2 |
| | 特定標的臓器毒性（単回ばく露） | 区分3（気道刺激性） |
| 環境に対する有害性 | 水生環境有害性（急性） | 区分1 |
| | 水生環境有害性（長期間） | 区分1 |

上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。

GHS ラベル要素

絵表示



注意喚起語

危険

危険有害性情報

H272 火災助長のおそれ：酸化性物質
H302 飲み込むと有害
H319 強い眼刺激
H335 呼吸器への刺激のおそれ
H410 長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性

注意書き

安全対策

熱、火花、裸火、高温のもののような着火源から遠ざけること。禁煙。
(P210)
衣類及び他の可燃物から遠ざけること。(P220)

応急措置

可燃物と配合を回避するために予防策をとること。(P221)
 粉じん、ヒュームの吸入を避けること。(P261)
 取扱い後はよく手を洗うこと。(P264)
 取扱い後はよく眼を洗うこと。(P264)
 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。(P270)
 屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。(P271)
 保護手袋、保護眼鏡、保護面を着用すること。(P280)
 火災の場合には、適切な消火剤を使用すること。(P370+P378)
 吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。(P304+P340)
 気分が悪い時は、医師に連絡すること。(P312)
 口をすすぐこと。(P330)
 目に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。(P305+P351+P338)
 眼の刺激が続く場合、医師の診断、手当てを受けること。(P337+P313)
 漏出物は回収すること。(P391)

**保管
廃棄**

容器を密閉して換気の良い場所で保管すること。(P403+P233)
 施錠して保管すること。(P405)
 内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。(P501)

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別

化学物質

化学品名又は一般名

ジクロロイソシアヌル酸ナトリウム

| 化学名又は一般名 | 濃度又は濃度範囲 | 化学式 | 官報公示整理番号 | | CAS 番号 |
|----------------------|----------|---|----------|-------|-----------|
| | | | 化審法番号 | 案衛法番号 | |
| ジクロロイソシアヌル酸 ナトリウム | 100% | C ₃ Cl ₂ N ₃ O ₃ Na | (5)-1043 | 既存 | 2893-78-9 |

分類に寄与する不純物及び安定化添加物

情報なし

4. 応急措置

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
 気分が悪い時は、医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合

気分が悪い時は、医師に連絡すること。
 皮膚を速やかに洗浄すること。外観に変化が見られた場合は、必要に応じて医師の診断を受けること。

| | |
|---------|---|
| 眼に入った場合 | 水で数分間注意深く洗うこと。眼の刺激が持続する場合は、医師の診断手当てを受けること。 |
| 飲み込んだ場合 | 直ちに医師に連絡すること。 口をすすぐこと。気分が悪い時は、医師に連絡すること。 |

5. 火災時の措置

| | |
|-------------|--|
| 消火剤 | 大量の水 |
| 使ってはならない消火剤 | 粉末消火剤、泡消火薬剤。 |
| 特有の危険有害性 | 熱で容器が爆発するおそれがある。 火災に巻き込まれると、燃焼を加速する。 加熱されたり、火災に巻き込まれたりすると、爆発的に分解するおそれがある。 加熱されたり、不純物が混入したりすると、爆発するおそれがある。 摩擦、熱及び不純物の混入により爆発するおそれがある。 熱又は不純物の混入により爆発するおそれがある。 速やかに燃焼するおそれがある。 |
| 特有の消火方法 | 危険でなければ火災区域から容器を移動する。 消火後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却する。 散水によって逆に火災が広がるおそれがある場合には、上記に示す消火剤のうち、散水以外の適切な消火剤を利用すること。 容器内に水を入れてはいけない：激しい反応が起こる可能性がある。 |
| 消火を行う者の保護 | 消火作業の際は、空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。 消火作業の際は、保護衣を着用し、眼、鼻、口を覆う保護具（ホースマスク等）を着用するのが望ましい。 |

6. 濡出時の措置

| | |
|-------------------------------|---|
| 人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置 | 関係者以外は近づけない。 立ち入る前に密閉された場所を換気する。 作業者は適切な保護具（『8. ばく露防止及び保護措置』の項を参照）を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。 作業に際しては適切な保護具を着用し、飛散しない方法で回収する。 適切な防護衣を着けていないときは破損した容器あるいは漏洩物に触れてはいけない。 |
| 環境に対する注意事項 封じ込め及び浄化の方法及び機材 | 河川等に排出され、環境へ影響を起ささないように注意する。 危険でなければ漏れを止める。 漏洩物の除去や廃棄処理は専門家の指示による。 大量の漏洩物の除去や廃棄処理の場合は専門家の指示による。 少量の場合、漏洩物は清潔なシャベルを用いて、清潔な乾燥した容器に |

二次被害の防止策

入れ、ゆるく覆いをして漏洩場所から移す。

可燃物（木、紙、油等）は漏洩物から隔離する。排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

情報なし

安全取扱注意事項

容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、又は引きずるなどの取扱いをしてはならない。

周辺での高温物、スパーク、火気の使用を禁止する。

可燃物や酸化されやすい物質との混触を避けること。

皮膚との接触を避けること。

飲み込まないこと。

粉じん、ヒュームの吸入を避けること。

眼に入れないこと。

取扱後は、手、顔等を良く洗い、うがいをする。

衛生対策

この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。

取扱い後はよく手を洗うこと。

保管

安全な保管条件

直射日光を避け、低温で換気の良い場所で保管する。

容器を密閉して換気の良い場所で保管する。

燃焼性物質及び可燃物から離して保管すること。

施錠して保管すること。

安全な容器包装材料

国連輸送法規で規定されている容器を使用する。

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策

管理濃度・許容濃度以下に保つために換気装置を設置する。

保護具

呼吸器の保護具

防塵マスク。

手の保護具

保護手袋を着用すること。

眼の保護具

眼の保護具を着用すること。

保護眼鏡（普通眼鏡型、側板付き普通眼鏡型、ゴーグル型）

皮膚及び身体の保護具

顔面用の保護具を着用すること。

適切な保護具を着用すること。

9. 物理的及び化学的性質

外観

物理的状态

固体

| | |
|----------------|-------|
| 形状 | 固体 |
| 色 | 白色 |
| 臭い | 微臭 |
| 臭いのしきい（閾）値 | データなし |
| pH | 情報なし |
| 沸点、初留点及び沸騰範囲 | 情報なし |
| 引火点 | 引火せず |
| 燃焼又は爆発範囲 | |
| 下限 | データなし |
| 上限 | データなし |
| n-オクタノール／水分配係数 | 情報なし |
| 自然発火温度 | 情報なし |
| 動粘性率 | データなし |

1 0. 安定性及び反応性

| | |
|------------|-----------------------------|
| 反応性 | 情報なし |
| 化学的安定性 | 法規制に従った保管及び取扱においては安定と考えられる。 |
| 危険有害反応可能性 | 情報なし |
| 避けるべき条件 | 情報なし |
| 危険有害な分解生成物 | 情報なし |

1 1. 有害性情報

| | |
|------|------|
| 急性毒性 | 情報なし |
|------|------|

1 2. 環境影響情報

| | |
|-----------|-------|
| 生態毒性 | 情報なし |
| オゾン層への有害性 | データなし |

1 3. 廃棄上の注意

| | |
|----------|--|
| 残余廃棄物 | 廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。 都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方自治体はその処理を行なっている場所はそこに委託して処理する。 |
| 汚染容器及び包装 | 関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。 |

1 4. 輸送上の注意

| | |
|--------|--------------|
| 国際規制 | |
| 海上規制情報 | I M Oの規定に従う。 |
| UN No. | 2465 |

| | |
|---|---------------------------------|
| Proper Shipping Name | DICHLOROISOCYANURIC ACID, SALTS |
| Class | 5.1 |
| Packing Group | II |
| Marine Pollutant | Applicable |
| Transport in bulk according to MARPOL 73/78, Annex II, and the IBC code | Not applicable |

航空規制情報航 ICAO/IATA の規定に従う。

| | |
|----------------------|---------------------------------|
| UN No. | 2465 |
| Proper Shipping Name | DICHLOROISOCYANURIC ACID, SALTS |
| Class | 5.1 |
| Packing Group | II |

国内規制

| | |
|--|---------------|
| 陸上規制 | 特になし |
| 海上規制情報 | 船舶安全法の規定に従う。 |
| 国連番号 | 2465 |
| 品名 | ジクロロイソシアヌル酸塩類 |
| 国連分類 | 5.1 |
| 容器等級 | II |
| 海洋汚染物質 | 該当 |
| MARPOL73/78 附属書II 及び IBC コードによるばら積み輸送される液体物質 | 非該当 |
| 航空規制情報 | 航空法の規定に従う。 |
| 国連番号 | 2465 |
| 品名 | ジクロロイソシアヌル酸塩類 |
| 国連分類 | 5.1 |
| 等級 | II |
| 緊急時応急措置指針番号 | 140 |

1 5. 適用法令

| | |
|-------------|---|
| 化審法 | 優先評価化学物質（法第 2 条第 5 項） |
| 外国為替及び外国貿易法 | 輸出貿易管理令別表第 1 の 1 6 の項 |
| 船舶安全法 | 酸化性物質類・酸化性物質（危規則第 3 条危険物告示別表第 1） |
| 航空法 | 酸化性物質類・酸化性物質（施行規則第 1 9 4 条危険物告示別表第 1） |
| 港則法 | その他の危険物・酸化性物質類（酸化性物質）（法第 2 1 条第 2 項、規則第 1 2 条、危険物の種類を定める告示別表） |

海洋汚染防止法

海洋汚染物質（施行規則第30条の2の3、国土交通省告示）

16. その他の情報

参考文献

14096の化学商品、化学工業日報社

その他

この情報は新しい知見により改訂されることがありますのでご了承ください。ここに記載された情報は、当社で調査できる範囲の情報であり、情報の正確さは保証するものではありません。化学品には予見できない有害性がありうるため取扱いには細心の注意を払ってください。本品の適正な使用については、使用者において行ってください。